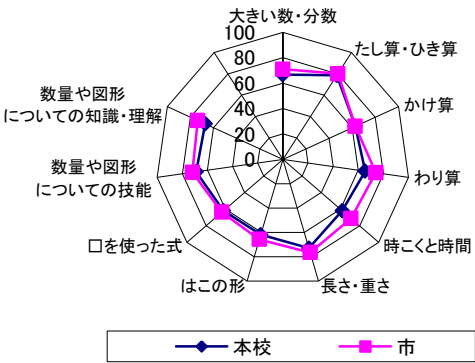


宇都宮市立上河内東小学校 第3学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	66.4	69.8
	量と測定	70.2	75.2
	図形	61.9	65.7
	数量関係	61.9	73.1
観点別	数学的な考え方	57.9	61.7
	数量や図形□についての技能	69.0	72.0
	数量や図形□についての知識・理解	67.3	73.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	- 平均正答率は、市の平均を下回った。 4けたのたし算、数の相対的な大きさの理解、0を含む乗法を適用し得点の合計を比べることはおおむねできているが、4けたのひき算、分数の大きさ、文章問題を解くためのわり算の式を選ぶことができていなかった。	校内の計算コンクールなど計算力を高める活動を通して、さらに正確さを高めるために、筆算の位をそろえて計算したり、繰り上がり、繰り下がりの数字を書かせたりすることを徹底するとともに、見積もりや見直しなども習慣づけできるようにしたい。
量と測定	- 平均正答率は、市の平均を下回った。 - 身近にあるものの長さを推察すること、身近にあるものの重さを推察して適当な単位を使うことはおおむねできているが、2つの時刻の間の時間を求めることができていなかった。	時刻と時間については、始めの時刻と終わりの時刻、その間の時間を時計の図や数直線に書き表しながら、60進法の仕組みを十分理解させたい。重さについては、実際にはかり使って重さを測る活動を通して、目盛りの読み方を繰り返し指導したい。
図形	- 平均正答率は、市の平均を下回っている。 - 直方体の長さの等しい辺の数はおおむねできているが、直方体から写し取ることができる面の理解ができていなかった。	直方体や立方体の面については、具体物を使って確認する。また、ドリルやプリント学習を繰り返し行い、様々な形の例を解かせて、問題に慣れるようにさせる。
数量関係	- 平均正答率は、市の平均を下回っている。 - 棒グラフを読み取り提示された条件に該当する項目を示すことはおおむねできているが、棒グラフから人数を読み取ることができていなかった。	棒グラフについては、様々な目盛りや単位のグラフを読み取ったり、描いたりする学習を通して、一層の定着を図りたい。